

# 落語で笑い 患者を支援

難病家族会

和歌山  
特定疾患の対  
策や患者を支援  
する「紀の川市

難病患者家族会きほく」が設立5周年を迎えた。22日には和歌山市湊通丁北2の「アパローム紀の国」で落語家を招き、「患者さんこそ笑って元気に」を開いた。写真。

開いた。写真。

同会のパーキンソン病やリウマチ、こう原病などの引きこもりがちな難病や長期慢性疾患の患者や家族ら約60人が参加。落語家の桂枝曾丸さん(43)や笑福亭鶴笑さん(51)、笑福亭瓶太さん(48)が和歌山弁落語や古典落語を披露し、テンポよく大

は、11月19日に東京都内で開かれる療養向上に役立つ情報を提供するフォーラムに参加したり、来年5月の通常国会に提出する難病慢性疾患などの総合対策を求める国会請願署名活動を続ける。

【山本芳博】

声を張り上げて患者らを笑わせた。

同会の森田

良恒事務局

長(60)は「今後も患者が笑って楽しめる組織づくりをしていきたい」と話している。

今後の同会

